

くすりのしおり

外用剤

2025年02月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出しがが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

製品名：カルテオロール塩酸塩 LA 点眼液 2%「わかもと」

主成分：カルテオロール塩酸塩(Carteolol hydrochloride)

剤形：無色透明の点眼剤、2.5mL、(キャップ) 抹茶色

シート記載など：



この薬の作用と効果について

交感神経受容体の一つであるβ受容体を遮断し、目の中の液（房水）の産生を減らすことにより眼圧を下げます。

通常、緑内障、高眼圧症の治療に用いられます。

次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師や薬剤師に伝えてください。

- 以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。気管支喘息または以前に気管支喘息と診断されたことがある。気管支痙攣または以前に気管支痙攣と診断されたことがある。慢性閉塞性肺疾患がある。コントロール不十分な心不全、徐脈、房室ブロック、心原性ショックがある。コントロール不十分な糖尿病、糖尿病性ケトアシドーシス、代謝性アシドーシスがある。コンタクトレンズを使用している。
- 妊娠または授乳中
- 他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

・あなたの用法・用量は（

：医療担当者記入）

- 通常、1%製剤を1回1滴、1日1回点眼します。なお、十分な効果が得られない場合は、2%製剤を用いて1回1滴、1日1回点眼します。本剤は2%製剤です。必ず指示された点眼方法に従ってください。
- 容器の先端が直接目に触れないようにしてください。
- 点眼後は、しばらく（1～5分間）まばたきをしないで目をつぶってください。
- 点眼した時に液がまぶたなどについた場合は、すぐにふき取ってください。
- 他の目薬と併用するときは、少なくとも10分以上の間隔をあけてから必ず最後にこの目薬を点眼してください。
なおやむを得ずこの目薬を先に点眼した時は、十分な間隔をあけてから他の目薬を点眼してください。
- 点眼し忘れた場合は、その日のうちであれば、すぐに1回分を点眼してください。翌日に気づいた場合には、前日の分は点眼せず、通常どおり1回1滴を1日1回点眼してください。1日に2回点眼したり、1回に2滴点眼してはいけません。
- 誤って多く使用した場合は医師または薬剤師に相談してください。
- 医師の指示なしに、点眼するのを止めないでください。

生活上の注意

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眼の症状では眼刺激症状（しみる感じ、疼痛、灼熱感、かゆみ、乾燥感など）、霧視（目がかすむ）、異物感、眼脂（目やに）、結膜炎、眼瞼炎、眼瞼腫脹、羞明感（まぶしく感じる）、角膜障害（角膜炎、角膜びまん性混濁、角膜びらんなど）、視力異常、眼瞼発赤、全身の症状では徐脈、呼吸困難、頭痛、不快感、倦怠感、めまい、吐き気、味覚異常（苦味など）、皮膚炎、発疹などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- 息切れ、息をするとヒューヒュー音がする [喘息発作]
- 脈が遅くなったり、気を失う [失神]
- 脈が遅くなる、息切れ、めまい、体がだるい、胸の痛み [房室ブロック、洞不全症候群、洞停止などの徐脈性不整脈、うつ血性心不全、冠攣縮性狭心症]
- 目の異物感、眼痛、結膜充血 [眼類天疱瘡]
- 意識消失、立ちくらみ [脳虚血、脳血管障害]
- 発熱、顔の紅斑、光線過敏症 [全身性エリテマトーデス]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- この薬は5mL用点眼容器に2.5mL入っていますので、液の量が少なく見えます。

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・開封後 1 カ月が経過し、薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

医療担当者記入欄

年　　月　　日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。